

令和 4 年度第 2 回岡崎市放課後児童クラブ支援員研修会レポート

【日時】 2022 年（11）月（10）日（木）

【会場】 たけのこクラブ

【内容】 救命処置講習

【講師】 岡崎市消防本部

【クラブ】（ なかよしクラブ ）

【名 前】（ 吉川 美里 ）

本日の研修で心にのこったことや気づいたことや学んだこと、今後の実践に活かしていきたいことなど、感想もふくめてお書きください（自由記述）。

救命処置の講習は今までに何度も受けてきましたが、AED が改良されてコンパクトになってきました。どんな人でも簡単に扱えるようにすることにより、大事な命を救える可能性も高くなっていきます。コロナのこともありますが、技術的にも難しいということで、人工呼吸を推奨していないことを知り、驚く半面少しほっとしました。今までの講習では一連の流れで人工呼吸をやるようになっていて、一般的には AED を使用する時にやらなくてはいけないと思うと、自信がなくなりどうしても使用をためらう原因になってしまうからです。自分のクラブで実際に起こったら、そんなことを言っている場合ではないので、必死でやりますが。効果が得られることが少ない人工呼吸よりも、少しでも早く“途切れることのない胸骨圧迫（心臓マッサージ）を中断せずにやり続けることが”何より大切だということ学びました。胸骨圧迫はかなり力が必要で、長い時間だと一人では体力が持ちません。多くの協力者を呼び集め、切らさないように交代しながら胸骨圧迫を続けることが大切であると分かりました。救急車が到着するまで約9分。助かる可能性は約 10 分の間に急激に減ってしまいます。それまで胸骨圧迫を続けることや AED など救命処置をすることがいかに重要なことかと改めて思いました。AED は小学生なら、大人のほうのスイッチを押して使用した方が良いと教えていただきました。

実習した後に時間があつたので、食べ物や喉に詰まらせた時の対処法などいくつか質問することが出来ました。

学童では AED を使うような状況にならないことが一番良いですが、いざという時に学んだことを落ち着いてしっかり生かせるようにしていきたいです。